	保育園におけるアレルギー疾患生活管理指導表(気管支喘息・アトピー性皮膚炎・アレルギー性結膜炎)	提出日 令和	年	月	日	
名前	年月日生(歳ヶ月)組					
	この生活管理指導表は保育園の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に限って作成するものです。					

			18/18/11 H	<u> </u>		<u> </u>			
	病	型・治療	保育園での生活上の留意点 ★保護者 電話:						
気管支喘息	A. 重症度分類(治療内容を考慮した) 1、間欠型 2、軽傷持続型 3、中等症持続型 4、重症持続型	C、急性発作治療薬 1、ベータ刺激薬吸入 2、ベータ刺激薬内服 3、その他	A、寝具に関する留意点1、とくになし(通常管理のみ)2、防ダニシーツ等の使用3、保護者と相談			型品 · ★連絡医療機関 医療機関名:			
喘息(あり・なし)	B、長期管理薬 1、ステロイド吸入薬 剤形 投与量(日):	D、急性発作時の対応(自由記載)	B、食物に関する留意点 1、とくになし 2、食物アレルギー管理指導表	参照	查	電話:			
	2、ロイコトリエン受容体拮抗薬 3、DSCG吸入薬 4、ベータ刺激薬 内服 貼付薬 5、その他	C、動物との接触 1、配慮不要			3	年	月	日	
		2、保護者と相談し決定 3、動物への反応が強いため不可		医師名					
			動物名()	医療機	関名			
	()		D、外遊び、運動に対する配慮 1、とくになし 2、保護者と相談し決定						
ア		型・治療	保育園での生	活上の留意点	記載日	∃	年	月	日
トピー性皮膚炎	A, 重症度のめやす(厚生労働科学研究 1、軽傷:面積に関わらず、軽度の 2、中等症:強い炎症を伴う皮疹が 3、重症:強い炎症を伴う皮疹が体	皮疹のみみられる。 体表面積の 10%未満にみられる。 表面積の 10%以上、30%未満にみられる。	A、プール・水遊び及び長時間 の紫外線下での活動 1、管理不要 2、保護者と相談し決定	医師名医療機					
	4 、最重症:強い炎症を伴う皮疹が ※軽度の皮疹:軽度の紅斑、乾燥	体表面積の30%以上にみられる。 、落屑主体の病変	B、動物との接触	3、夏季シャワー浴 (施設で可能な場合)					
(あり・なし)	 ※強い交征を伴う皮疹・紅斑、丘 B-1、常用する外用薬 1、ステロイド軟膏 2、タクロリムス軟膏(「プロトピック」 3、保湿剤 4、その他() 	疹、びらん、浸潤、苔癬化などを伴う病変 B-2、常用する内 C、食物アレルギーの合併 服薬 1、抗ヒスタミン薬 1、あり 2、その他() 2、なし	1、配慮不要2、保護者と相談し決定3、動物へのアレルギーが強いため不可動物名()	D、その他の配慮・管理事項 (自由記載)					
7	疾	病・治療	保育園での生活上の留意点			3	年	月	日
レルギ	A、病型 1、通年性アレルギー性結膜炎		A、プール指導 1、管理不要 2、保護者と相談し決定 3、プールへの入水不可 B、屋外活動 1、管理不要			<u> </u>			
アレルギー性結膜炎	2、季節性アレルギー性結膜炎(花粉症 3、春季カタル 4、アトピー性角結膜炎)				機関名			
	5、その他()							
(あり・な	B、治療 1、抗アレルギー点眼薬 2、ステロイド点眼薬 3、免疫抑制点眼薬 4、その他()	2、保護者と相談し決定 C、その他の配慮管理事項(自	由記載)					

様式3

保育園におけるアレルギー疾患生	上活管理指導	享表(食物アレ ル	レギー・	・アナ	フィラキシー	ー・アレ	ルギー性鼻炎)	提出日	令和	年	月	日
名前	男・女	平成・令和	_年	_月	_日生(_	_歳	ヶ月)	_組				

この生活管理指導表は保育園の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に限って作成するものです。

アナフィラキシ	病型・治療 A、食物アレルギー病型(食物アレルギーありの場合のみ記載) 1、食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎 2、即時型 3、その他 B、アナフィラキシー病型(アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載) 1、食物(原因:) 2、その他(医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー) C、原因食物・除去根拠 該当する食品の番号に〇をし、かつ《 »内に除去根拠を記載 1、鶏卵 《 » 2、牛乳・乳製品 《 » 3、小麦 《 » (①明らかな症状の既往 2、食物負荷試験陽性 4、ソバ 《 » (③IgE 抗体等検査結果陽性	保育園での生活上の留意点 A、給食・離乳食 1、管理不要 2、保護者と相談し決定 B、アレルギー用調整粉乳 1、不要 2、必要 下記該当ミルクに〇、又は ()内に記入 ミルフィー・ニューMA-1・MA-mi・ペプディエット・エレメンタルフォーミュラその他() C、食物食材を扱う活動	【緊急 ● ★週	車絡医療機関 療機関名:			
ュラキシー (あり・なし)	5、ピーナッツ 《 》 (4・表現取) 6、大豆 《 》 7、ゴマ 《 》 8、ナッツ類※ 《 》 (すべて・クルミ・アーモンド・)) 9、甲殻類※ 《 》 (すべて・エビ・カニ・)) 10、軟体類・貝類※ 《 》 (すべて・イカ・タコ・ホタテ・アサリ・)) 11、魚卵 《 》 (すべて・サバ・サケ・)) 12、魚類※ 《 》 (すべて・サバ・サケ・)) 13、肉類※ 《 》 (鶏肉・牛肉・豚肉・)) 14、果物類※ 《 》 (キウイ・バナナ・)) 15、その他 ()) 「※類は() の中の該当する項目に○をするか具体的に記載すること」	て、	医師名	年 月 日			
	D、緊急時に備えた処方薬 1、内服薬(抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2、アドレナリン自己注射薬「エピペン 1.15mg」 3、その他(E、その他の配慮・管理事項					
(あり・なし)	病型・治療 A、病型 1、通年性アレルギー性鼻炎 2、季節性アレルギー性鼻炎 主な症状の時期:春、夏、秋、冬	保育園での生活上の留意点 A、屋外活動 1、管理不要 2、保護者と相談し決定	記載日 年月日 医師名				
	B、治療 1、抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬(内服) 2、鼻噴霧用ステロイド薬 3、その他	B、その他の配慮・管理事項(自由記載)	医療機関名				